

平成21年度第3四半期報告

平成22年2月12日
オリックス生命保険株式会社

オリックス生命保険株式会社(社長 水盛 五実)の平成21年度第3四半期の業績は添付のとおりです。
※資料中、「第3四半期累計期間」は「4月1日～12月31日」を、「第3四半期会計期間」は「10月1日～12月31日」を表しております。

【目次】

1. 主要業績	・・・・・・・・ (1)
2. 資産運用の実績(一般勘定)	・・・・・・・・ (3)
3. 四半期貸借対照表	・・・・・・・・ (6)
4. 四半期損益計算書	・・・・・・・・ (7)
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	・・・・・・・・ (9)
6. ソルベンシー・マージン比率	・・・・・・・・ (10)
7. 特別勘定の状況	・・・・・・・・ (10)
8. 保険会社及びその子会社等の状況	・・・・・・・・ (10)
(参考1)第3四半期会計期間の業績	・・・・・・・・ (11)
(参考2)証券化商品等への投資の状況について	・・・・・・・・ (14)

【平成21年度第3四半期の決算概況】

<損益について>

当期純利益は△14億円となりましたが、前年同期の△82億円から赤字幅は大きく縮小しました。これは、資産運用収支の改善(有価証券売却損および評価損の減少など)が主な理由です。

<主要業績/契約の状況について>

営業面では、医療保険CUREを主とした個人向け保険の販売が順調に推移し、新契約件数は前年同期比109%の18.1万件、保有契約件数は前年度末比115.8%の84.7万件となりました。なお、当社では医療保険は死亡保障がないものが大部分であるため、契約高は減少しています。

<健全性について>

ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比 405.7ポイント増加し、1,653.1%となりました。「その他有価証券の評価差額(損失)」の減少に伴いソルベンシー・マージン総額が増加し、「資産運用リスク」の減少に伴いリスク合計額が減少したことが主な理由です。

<本件に関するお問合せ先>

オリックス生命保険株式会社
経営管理部 時枝・木藤

〒163-0913 東京都新宿区西新宿2-3-1
TEL:03-5326-2605

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・ 保有契約高

(単位 :千件、億円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期会計期間末				平成20年度末	
	件 数	金 額		件 数	金 額	
		前年度末比	前年度末比			
個 人 保 険	847	115.8	39,345	96.6	732	40,718
個 人 年 金 保 険	1	109.7	39	95.3	1	41
団 体 保 険	—	—	3,814	95.1	—	4,011
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—

(注)個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・ 新契約高

(単位 :千件、億円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期累計期間				平成21年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額		件 数	前年 同期比	金 額		件 数	前年 同期比	
		新契約	転換による純増加			新契約	転換による純増加			
個 人 保 険	166	3,911	3,911	—	181	109.0	3,481	89.0	3,481	—
個 人 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	11	11	/	—	—	9	83.1	9	/
団 体 年 金 保 険	—	—	—	/	—	—	—	—	—	/

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期 会計期間末		平成20年度末
		前年度末比	
個 人 保 険	96,578	92.6	104,256
個 人 年 金 保 険	900	106.6	844
合 計	97,478	92.7	105,100
うち医療保障・ 生前給付保障等	38,215	110.3	34,647

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期 累計期間	平成21年度 第3四半期 累計期間	前年同期比
個 人 保 険	12,888	11,919	92.5
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	12,888	11,919	92.5
うち医療保障・ 生前給付保障等	9,392	8,548	91.0

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績(一般勘定)

(1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期会計期間末		平成20年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	30,955	6.4	14,122	2.8
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	52,502	10.8	47,063	9.3
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	252,440	52.0	238,466	47.0
公 社 債	209,389	43.2	164,071	32.3
株 式	54	0.0	51	0.0
外 国 証 券	38,600	8.0	65,071	12.8
公 社 債	38,324	7.9	50,797	10.0
株 式 等	276	0.1	14,273	2.8
そ の 他 の 証 券	4,395	0.9	9,271	1.8
貸 付 金	101,994	21.0	139,749	27.6
不 動 産	43,070	8.9	43,766	8.6
繰 延 税 金 資 産	—	—	—	—
そ の 他	13,492	2.8	32,430	6.4
貸 倒 引 当 金	△ 9,228	△ 1.9	△ 8,347	△ 1.6
合 計	485,227	100.0	507,250	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	11	0.0	13,521	2.7

(注)「不動産」については土地・建物を合計した金額を計上しています。

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	平成21年度第3四半期会計期間末					平成20年度末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			うち差益	うち差損				うち差益	うち差損	
満期保有目的の債券	43,740	43,449	△ 290	3	293	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	209,191	208,743	△ 448	1,214	1,662	242,892	235,025	△ 7,867	301	8,168
公 社 債	164,697	165,649	952	1,169	216	164,674	164,071	△ 602	245	848
株 式	50	44	△ 6	0	6	50	41	△ 9	—	9
外 国 証 券	39,321	38,600	△ 720	26	746	57,695	51,549	△ 6,145	4	6,150
公 社 債	38,980	38,324	△ 656	26	682	56,690	50,797	△ 5,893	4	5,897
株 式 等	340	276	△ 64	—	64	1,005	752	△ 252	—	252
その他の証券	5,088	4,395	△ 692	—	692	10,432	9,271	△ 1,160	—	1,160
買入金銭債権	33	52	19	19	—	10,038	10,090	51	51	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	252,931	252,193	△ 738	1,217	1,956	242,892	235,025	△ 7,867	301	8,168
公 社 債	208,437	209,099	662	1,172	510	164,674	164,071	△ 602	245	848
株 式	50	44	△ 6	0	6	50	41	△ 9	—	9
外 国 証 券	39,321	38,600	△ 720	26	746	57,695	51,549	△ 6,145	4	6,150
公 社 債	38,980	38,324	△ 656	26	682	56,690	50,797	△ 5,893	4	5,897
株 式 等	340	276	△ 64	—	64	1,005	752	△ 252	—	252
その他の証券	5,088	4,395	△ 692	—	692	10,432	9,271	△ 1,160	—	1,160
買入金銭債権	33	52	19	19	—	10,038	10,090	51	51	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、貸付債権信託受益権証書(買入金銭債権)等、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものを含んでいます。

時価のない有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	平成21年度 第3四半期会計期間末	平成20年度末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
そ の 他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	—	—
そ の 他 有 価 証 券	9	13,530
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	9	9
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	0	0
そ の 他	—	13,521
合 計	9	13,530

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

●運用目的の金銭の信託

該当ありません。

●満期保有目的・責任準備金対応・その他の金銭の信託

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科目	平成21年度 第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日現在)	平成20年度末 要約貸借対照表 (平成21年3月31日現在)
	金 額	金 額
(資 産 の 部)		
現金及び預貯金	30,955	14,122
買入金銭債権	52,502	47,063
有価証券	252,440	238,466
(うち国債)	(89,662)	(46,550)
(うち地方債)	(4,580)	(11,701)
(うち社債)	(115,147)	(105,820)
(うち株式)	(54)	(51)
(うち外国証券)	(38,600)	(65,071)
貸付金	101,994	139,749
保険約款貸付	6,045	7,330
一般貸付	95,948	132,419
有形固定資産	43,410	44,176
無形固定資産	2,453	3,004
代理店貸	0	3
再保険貸	56	49
その他資産	10,610	28,935
支払承諾見返	31	27
貸倒引当金	△ 9,228	△ 8,347
資産の部合計	485,227	507,250
(負 債 の 部)		
保険契約準備金	467,725	492,680
支払準備金	13,722	10,980
責任準備金	453,508	481,085
契約者配当準備金	495	614
再保険借	79	148
その他負債	4,126	6,901
未払法人税等	33	46
その他の負債	4,092	6,854
退職給付引当金	253	422
価格変動準備金	1,500	1,500
支払承諾	31	27
負債の部合計	473,716	501,681
(純 資 産 の 部)		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金	13,704	13,704
資本準備金	13,704	13,704
利益剰余金	△ 29,245	△ 27,767
その他利益剰余金	△ 29,245	△ 27,767
繰越利益剰余金	△ 29,245	△ 27,767
株主資本合計	11,959	13,436
その他有価証券評価差額金	△ 448	△ 7,867
評価・換算差額等合計	△ 448	△ 7,867
純資産の部合計	11,510	5,569
負債及び純資産の部合計	485,227	507,250

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	平成20年度 第3四半期累計期間 〔平成20年4月1日から 平成20年12月31日まで〕	平成21年度 第3四半期累計期間 〔平成21年4月1日から 平成21年12月31日まで〕
	金 額	金 額
経 常 収 益	116,679	115,659
保 険 料 等 収 入	83,664	75,676
（うち保険料）	(83,109)	(75,492)
資 産 運 用 収 益	9,722	11,474
（うち利息及び配当金等収入）	(7,446)	(9,039)
（うち有価証券売却益）	(1,765)	(2,077)
（うち金融派生商品収益）	—	(42)
そ の 他 経 常 収 益	23,292	28,509
（うち責任準備金戻入額）	(22,248)	(27,577)
経 常 費 用	128,969	116,675
保 険 金 等 支 払 金	97,704	89,302
（うち保険金）	(21,000)	(20,843)
（うち年金）	(1,790)	(931)
（うち給付金）	(2,111)	(3,039)
（うち解約返戻金）	(70,356)	(62,410)
（うちその他返戻金）	(2,176)	(1,803)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	—	2,741
支 払 備 金 繰 入 額	—	2,741
資 産 運 用 費 用	9,980	3,579
（うち支払利息）	(3)	(3)
（うち有価証券売却損）	(3,275)	(279)
（うち有価証券評価損）	(1,604)	(315)
事 業 費	18,734	18,791
そ の 他 経 常 費 用	2,549	2,261
経 常 損 失	12,289	1,016
特 別 損 失	85	2
固 定 資 産 等 処 分 損	5	2
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	80	—
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	442	425
税 引 前 四 半 期 純 損 失	12,817	1,443
法 人 税 及 び 住 民 税	23	33
法 人 税 等 調 整 額	△ 4,600	—
法 人 税 等 合 計	△ 4,576	33
四 半 期 純 損 失	8,241	1,477

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

平成21年度第3四半期会計期間末

1. 簡便的な会計処理及び四半期特有の会計処理

(1) 貸倒引当金の算定方法

貸倒引当金は、次のとおり計上しております。

破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。上記以外の債権については、当上半期末の貸倒実績率を基礎として、合理的な範囲内で調整を加えた貸倒実績率を使用して貸倒見込高を算定しております。

2. 契約者配当準備金の異動状況は以下のとおりであります。

イ. 前年度末現在高	614百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	544百万円
ハ. 契約者配当準備金繰入額	425百万円
ニ. 当第3四半期会計期間末現在高	495百万円

3. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

(単位：株)

	当第3四半期 会計期間末 株式数
発行済株式	
普通株式	800,000
合計	800,000

4. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

注記事項

(四半期損益計算書関係)

平成21年度第3四半期累計期間

- 1株当たり四半期純損失の金額は1,846円80銭であります。
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	平成20年度 第3四半期 累計期間	平成21年度 第3四半期 累計期間
基礎利益 A	△ 6,067	△ 647
キャピタル収益	1,765	2,119
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	1,765	2,077
金融派生商品収益	—	42
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	4,880	711
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	3,275	279
有価証券評価損	1,604	315
金融派生商品費用	—	—
為替差損	0	116
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	△ 3,114	1,407
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 9,182	760
臨時収益	—	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	3,107	1,776
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	126	115
個別貸倒引当金繰入額	2,980	1,660
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 3,107	△ 1,776
経常利益 A+B+C	△ 12,289	△ 1,016

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成21年度 第3四半期 会計期間末	平成20年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	61,093	56,258
資本金等	11,959	13,436
価格変動準備金	1,500	1,500
危険準備金	3,424	3,308
一般貸倒引当金	1,591	2,371
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	△ 448	△ 7,867
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	1,188	1,192
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	41,615	42,031
持込資本金等	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	261	283
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	7,390	9,019
保険リスク相当額 R1	2,440	2,512
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	990	803
予定利率リスク相当額 R2	807	833
資産運用リスク相当額 R3	5,410	7,187
経営管理リスク相当額 R4	289	340
最低保証リスク相当額 R7	—	—
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,653.1%	1,247.4%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています(「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています)。

7. 特別勘定の状況

該当ありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

(参考1)第3四半期会計期間の業績

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期会計期間				平成21年度 第3四半期会計期間					
	件数	金 額			件数	前年 同期比	金 額			
		新契約	転換による 純増加				前年 同期比	新契約	転換による 純増加	
個人保険	50	1,154	1,154	—	61	123.7	1,116	96.7	1,116	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	9	9		—	—	9	105.4	9	
団体年金保険	—	—	—		—	—	—	—	—	

・新契約年換算保険料

(単位：百万円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期 会計期間	平成21年度 第3四半期 会計期間	前年同期比
個人保険	3,426	4,065	118.6
個人年金保険	—	—	—
合 計	3,426	4,065	118.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	2,438	2,958	121.3

・損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	平成20年度 第3四半期会計期間 〔平成20年10月1日から 平成20年12月31日まで〕	平成21年度 第3四半期会計期間 〔平成21年10月1日から 平成21年12月31日まで〕
	金 額	金 額
経 常 収 益	40,248	34,563
保 険 料 等 収 入	24,525	23,475
（うち保険料）	(24,420)	(23,418)
資 産 運 用 収 益	3,028	4,318
（うち利息及び配当金等収入）	(2,547)	(2,952)
（うち有価証券売却益）	(270)	(1,334)
（うち金融派生商品収益）	—	(20)
そ の 他 経 常 収 益	12,693	6,769
（うち責任準備金戻入額）	(12,256)	(6,675)
経 常 費 用	43,007	34,656
保 険 金 等 支 払 金	33,642	25,812
（うち保険金）	(6,001)	(7,035)
（うち年金）	(863)	(193)
（うち給付金）	(803)	(1,092)
（うち解約返戻金）	(25,087)	(16,950)
（うちその他返戻金）	(810)	(461)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	—	866
支 払 備 金 繰 入 額	—	866
資 産 運 用 費 用	2,770	1,160
（うち支払利息）	(0)	(0)
（うち有価証券売却損）	(2,131)	—
（うち有価証券評価損）	(△160)	(203)
事 業 費 用	5,762	6,191
そ の 他 経 常 費 用	831	625
経 常 損 失	2,759	92
特 別 利 益	—	30
価 格 変 動 準 備 金 戻 入 額	—	30
特 別 損 失	20	—
固 定 資 産 等 処 分 損	0	—
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	20	—
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	147	141
税 引 前 四 半 期 純 損 失	2,927	204
法 人 税 及 び 住 民 税	8	11
法 人 税 等 調 整 額	△1,055	—
法 人 税 等 合 計	△1,047	11
四 半 期 純 損 失	1,879	215

・経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	平成20年度 第3四半期 会計期間	平成21年度 第3四半期 会計期間
基礎利益 A	△ 878	△ 707
キャピタル収益	270	1,354
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	270	1,334
金融派生商品収益	—	20
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	1,971	228
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	2,131	—
有価証券評価損	△ 160	203
金融派生商品費用	—	—
為替差損	0	25
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	△ 1,700	1,125
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 2,579	418
臨時収益	—	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	179	510
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	37	53
個別貸倒引当金繰入額	141	457
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 179	△ 510
経常利益 A+B+C	△ 2,759	△ 92

・保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

(参考2)証券化商品等への投資の状況について

平成21年12月末時点での当社が保有する証券化商品への投資の状況につきご報告します。
なお、サブプライム関連投資はございません。

- ① 特別目的事業体(SPEs)一般への投資はありません。
- ② 債務担保証券(CDO)への投資はありません。
- ③ その他のサブプライム・Alt-Aへの投資はありません。
- ④ 商業用不動産担保証券(CMBS)

(単位:億円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考:平成21年9月末		
商業用不動産担保証券(CMBS)	349	390	△ 4	△ 1

担保となる不動産は、すべて日本国内のオフィスビル、商業用施設等です。

- ⑤ レバレッジド・ファイナンスへの投資はありません。

- ⑥ その他

(単位:億円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考:平成21年9月末		
ABS(*1)	241	266	2	0
RMBS(*2)	66	234	1	5
住宅金融支援機構	40	208	0	5
民間金融機関(住宅ローン)	26	26	0	0
その他の仕組債(*3)	42	42	0	0
合計	350	544	3	5

*1:ABSの裏付債権はすべて日本国内のリース債権であり、海外の債権を裏付けとするものではありません。

*2:RMBSの裏付債権はすべて日本国内の住宅ローンであり、海外の住宅ローンを裏付けとするものではありません。

*3:CDS、クレジットリンクノートの取引・残高はありません。

※実現損益は、売却、評価損等にかかわるものです。